

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名 一般国道163号 <small>きよたまいこま</small> 清滝生駒道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局																																				
起終点 自：大阪府四條畷市中野 至：奈良県生駒市鹿畑町		延長 11.0km																																				
事業概要 地域高規格道路 学研都市連絡道路は、第二京阪道路、京奈和自動車道等と広域ネットワークを形成することにより、関西文化学術研究都市と関西国際空港や阪神港など大阪市方面との連携を強化し、学研都市の整備促進を支援する、大阪府門真市から京都府木津川市に至る延長約20kmの道路である。 「清滝生駒道路」「精華拡幅」はこの一部を構成し、関西文化学術研究都市へのアクセス向上とともに、一般国道163号の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ること目的とした道路である。																																						
S54年度事業化	S54～S62年度都市計画決定 (H16年度、H23年度変更)	S56年度用地着手																																				
全体事業費 : 1,066億円 事業進捗率 : 約59% 供用済延長 : 3.6km		S56年度工事着手																																				
計画交通量 : 18,200台/日																																						
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 1.2</td> <td>(残事業)/事業全体 510/1,905億円</td> <td>(残事業)/事業全体 1,014/2,192億円</td> <td rowspan="3">平成29年</td> </tr> <tr> <td>(1.1)</td> <td>事業費: 456/1,826億円</td> <td>走行時間短縮便益: 916/1,996億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 2.0</td> <td>維持管理費: 54/80億円</td> <td>走行経費減少便益: 75/156億円</td> </tr> <tr> <td>(2.0)</td> <td></td> <td>交通事故減少便益: 23/40億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.2	(残事業)/事業全体 510/1,905億円	(残事業)/事業全体 1,014/2,192億円	平成29年	(1.1)	事業費: 456/1,826億円	走行時間短縮便益: 916/1,996億円	(残事業) 2.0	維持管理費: 54/80億円	走行経費減少便益: 75/156億円	(2.0)		交通事故減少便益: 23/40億円		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 1.2</td> <td>(残事業)/事業全体 510/1,905億円</td> <td>(残事業)/事業全体 1,014/2,192億円</td> <td rowspan="3">平成29年</td> </tr> <tr> <td>(1.1)</td> <td>事業費: 456/1,826億円</td> <td>走行時間短縮便益: 916/1,996億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 2.0</td> <td>維持管理費: 54/80億円</td> <td>走行経費減少便益: 75/156億円</td> </tr> <tr> <td>(2.0)</td> <td></td> <td>交通事故減少便益: 23/40億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.2	(残事業)/事業全体 510/1,905億円	(残事業)/事業全体 1,014/2,192億円	平成29年	(1.1)	事業費: 456/1,826億円	走行時間短縮便益: 916/1,996億円	(残事業) 2.0	維持管理費: 54/80億円	走行経費減少便益: 75/156億円	(2.0)		交通事故減少便益: 23/40億円	
B/C	総費用	総便益	基準年																																			
(事業全体) 1.2	(残事業)/事業全体 510/1,905億円	(残事業)/事業全体 1,014/2,192億円	平成29年																																			
(1.1)	事業費: 456/1,826億円	走行時間短縮便益: 916/1,996億円																																				
(残事業) 2.0	維持管理費: 54/80億円	走行経費減少便益: 75/156億円																																				
(2.0)		交通事故減少便益: 23/40億円																																				
B/C	総費用	総便益	基準年																																			
(事業全体) 1.2	(残事業)/事業全体 510/1,905億円	(残事業)/事業全体 1,014/2,192億円	平成29年																																			
(1.1)	事業費: 456/1,826億円	走行時間短縮便益: 916/1,996億円																																				
(残事業) 2.0	維持管理費: 54/80億円	走行経費減少便益: 75/156億円																																				
(2.0)		交通事故減少便益: 23/40億円																																				
感度分析の結果 【事業全体】交通量 : B/C=0.9~1.4(交通量 ±10%) 【残事業】交通量 : B/C=1.6~2.4(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.1~1.2(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=1.8~2.2(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.1~1.2(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=1.9~2.0(事業期間±20%)																																						
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・清滝生駒道路の開通済区間では渋滞長が減少したが、未整備区間では主要渋滞箇所速度低下が発生しており、渋滞が発生している。清滝生駒道路・精華拡幅の整備により交通混雑の緩和が期待される。 ②交通安全の確保 ・清滝生駒道路・精華拡幅の未整備区間は開通済区間と比べて死傷事故率が約2倍以上。追突事故が全体の約6割を占めている。 ・清滝生駒道路の開通済区間では年平均の死傷事故件数が約9割減少しており、清滝生駒道路・精華拡幅の整備により同様の効果が期待される。																																						
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等 ・関西文化学術研究都市建設推進協議会（S58.3設立、関西経済連合会会長、京都府知事、大阪府知事、奈良県知事、京都商工会議所会頭、大阪商工会議所会頭、奈良県商工会議所会頭、（財）関西文化学術研究都市推進機構理事長で構成）より早期完成の要望を受けている。 ・国道163号整備促進期成同盟会（S63.5設立、木津川市長、生駒市長、四條畷市長、精華町長で構成）より早期完成の要望を受けている。 ・国道163号整備促進協議会（H12.12設立、木津川市長、笠置町長、和束町長、精華町長、南山城村長より構成）早期完成の要望を受けている。 大阪府知事からの意見 1. 平成26年3月に供用された清滝トンネルを含め、大阪府域におけるこれまでの開通により、緊急搬送時間の短縮や事故の減少など様々な効果が発現しているが、更なる整備効果の発現のため、段階的な整備も含め全線整備のスケジュールを明らかにするとともに、工事の安全対策に万全を期したうえで、1日の早い全線供用に向け、事業促進を図られたい。 2. 事業の実施にあたっては、道路構造や施工方法について十分に検討の上、より一層のコスト縮減に努められたい。 3. 今後とも事業を円滑に進めるため、沿道環境へ配慮するとともに、地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。																																						

奈良県知事の意見

国道163号清滝生駒道路は、奈良県北部の府県境間における東西方向のネットワーク強化を図り、関西学術研究都市などの地域の振興にも寄与する重要な路線である。

現道163号の鹿畑町交差点は「地域の主要渋滞箇所（奈良県渋滞対策協議会 H25年1月）」として位置づけられており、渋滞の解消にむけて清滝生駒道路の早期整備が必要です。

さらに生駒市域における用地取得を推進し、早期の完成に向けた計画的な整備に努められたい。

以上のことから、対応方針（案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道163号清滝生駒道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

関西文化学術研究都市では、大学、研究開発型企業、研究施設等の立地施設が増加。関西文化学術研究都市の周辺では、第二京阪道路等の高速道路及び主要幹線道路が順次開通。清滝生駒道路・精華拡幅の整備により関西文化学術研究都市へのアクセス向上が期待される。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和54年度に事業化、用地進捗率約59%、事業進捗率約59%（平成29年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

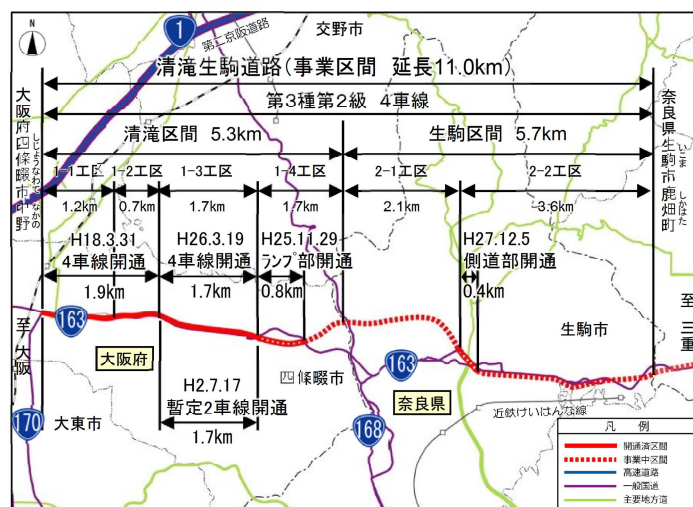
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。